

研修会を振り返って

先日、兵庫県の放課後等デイサービスの研修会に参加してきました。
講師はNPO法人あいち障害者センター理事長の近藤直子氏です。
Angeからもスタッフが参加してくれました。全通連（全国発達支援通所事業者連絡協議会の略で、全国各地にある発達に心配のある乳幼児の療育や保護者からの相談を実施している児童発達支援事業の）の会長でもいらっしゃいます。そしてこの団体はこども家庭庁へ要望や懇談をされています。

研修の冒頭で、子どもの権利についてお話しされました。こども家庭庁は「こども主体」「ウエルビーイングの保障」をうたっています。子どもが幸せとを感じるためには、大人の生活と心に「ゆとり」が必要なこと。今は障害を「生活モデル」「社会モデル」でみて行くことなどをお話されました。その中で特に大きく聞いた内容が「できることが増えること」を発達と捉える人が多いが、この「できること」は大人や指導者側が期待する行動になっていないか？と。そのために、行動変容を求めがちになっていないか？と投げかけられました。また心が育つと「できなくなること」やマイナスの事も出てくることもあります。そこで、子どもが「意味を感じる活動」をすることによって、主体的になれる。「自分らしい自分」を感じることで自己選択、自己決定、自己変革ができるようになる」と語られました。また、「受け入れる」と「受け止める」の違いも教えていただきました。

先日、性教育の研修の講師に行った時です。性器タッチする子どもに対して、絵カードで（触らない様に）言っても聞かないという質問をいただきました。性器を触らないのは大人や支援者側の願いであって、子ども達は不安や心地よさから触りたい気持ちがあります。「触ってはいけません」と言い続けると、性器が触れず清潔にできなかったり（お風呂でちゃんと洗えなかったり）排泄の時に持たず用をたすことになります。そこで私たちがすることは「受け止める」です。その子の触りたい気持ちや不安を受け止めて、対応する。触りたければ「一人になる場所」や方法などを家族と事業所とで話し合っ触れる保障をしてあげてくださいと、お伝えしました。支援者さん達は、ただ単に「受け入れ」てしまっは、性器タッチをどこでもしてしまうのではないかと悩んでおられたそうです。

Angeでは「自分らしい自分」を感じられる活動をできるだけ保障したいと思っています。学校で頑張ってきた子ども達。帰って来てホッとしたり、しんどかった気持ちを吐き出したりもします。友達と楽しい活動や仲間に認められ、小さい子から憧れられる体験を通して、また、大好きな指導員にたくさん共感してもらって、そんな経験をしてまた、次の日も頑張ろうと思える気持ちになるような活動を今後も保障していきたいと思っています。

郡 奈美

クリスマス制作



12月に入り、クリスマス会に向けてクリスマス制作が始まっています。今年のクリスマスプレゼントはキャンディレイのクリスマスリース版。そのリースになる部分を作ります。ケースに画用紙を入れて、その中に絵の具の付いたビー玉を入れたら後は好きなように動かすだけ。星が連なっているような模様が入ります。ケースの中で転がるビー玉を楽しむ人もいれば、ビー玉が転がる後から出てくる模様に興味津々の人、中には自分の操作次第でビー玉を思うように転がせることに気付き、好きな模様を作ろうとしたり、画用紙いっぱいまんべんなく模様が入る様工夫したりする人もいました。今回は説明を熱心に聞いたり、自ら席に着いたり、「準備から自分でするんだ」とスタッフの手伝いを拒むなど、どの人も積極的でした。12月22日のクリスマス会でお渡しいたします。お楽しみに。

12月29日（金）～1月3日（水） Angeはお休みとなります。期間中の緊急連絡等はこちらの電話番号にお願い致します。
090-9276-6640（水上）

研修会「今、子どもにつけておきたい力」



大阪青山大学准教授 西堂 直子先生の朗らかな笑顔と優しい雰囲気にもまれながら11月21日（火）「今、子どもにつけておきたい力」の研修がAngeにて開催されました。当日、アンジュ保護者、外部事業所の職員、またスクールソーシャルワーカーも参加されました。

西堂先生は、以前神戸大学附属特別支援学校の副校長も務められると共に、明石市で初めての「たんぼ教室（障がい幼児親子教室）」を開設され、子どもたちへの療育や保護者支援にも取り組まれていました。研修の中でその時々保護者の悩み・迷い、また保護者とのどのように関わってこられたかをお話しされました。日常生活を送る上でつい大人が子どもを急かしてしまい、子どもが十分に満足するまで至らない時もありますが、西堂先生がお話しされた子どもとの関わりの中で「焦らず・ゆっくり・たっぷり・じっくりを保障していくこと」という言葉は、日々の私たちの言動を思い返すと同時に、研修受けた皆さんの心に沁み渡ったのではないのでしょうか？

「じっくりを保障する」ということがどれだけ子どもの心に安心と満足を与えるかを、今一度考える機会になり、とても学びの多い研修でした。西堂先生ありがとうございました。オンデマンド配信は今からでも視聴可能です。ご興味のある方はお声掛けください。

防災カフェ参加者募集中 2月開催！

「防災カフェ」が今年もオープンします！
今回も福祉防災士の湯井 恵美子氏を講師に迎え、障がいを持つ親としての心構えを踏まえて、お話しいただきます！
準備をしているつもりでも、完璧にできることはないです。今から、少しずつ、心と物資の準備をして楽しく防災を学びませんか？今回は避難所の今の現状を考えてみましょう。

会場	Ange 服部	参加費	500円 外部の方1000円
時間	10時～12時	持ち物	筆記用具
対象	どなたでも参加いただけます（Angeをご利用でない方も是非どうぞ）		